

今年行われる 衆院選で

「核兵器は廃止すべき」と する議員を多数に

核兵器禁止条約

1月22日発効

大国の横暴を抑えての
発効は歴史的な出来事

被爆者の運動も
大きな力に

兵器禁止条約が誕生することになりました。もちろん、被害の実態を訴えた被爆者の運動が大きな力となっています。

今年1月22日に核兵器禁止条約が発効しました。この条約は、2017年に国連で122カ国の賛成で採択され、昨年10月に批准国が50カ国に達したため、発効が決まりました。これで核兵器は、実験・製造・保有・使用などがいずれも違法となる兵器となりました。

これまでは、1970年に発行した核不拡散条約(NPT)がありました。この条約は、核兵器の不拡散の目的で、当時の核保有国(アメリカ、イギリス、ソ連、中国、フランス)以外の国が核兵器を所有することを禁止する不平等条約です。しかも核保有国は、核戦力の強化を続けています。2000年には世界的な市民の運動で、核保有国には「自国の核兵器を完全廃棄する明確な約束」をさせる成果をあげましたが、実際には核兵器の研究・開発が続けられています。核爆弾の小型化、潜水艦・航空機・車両からの発射、ミサイル技術の向上で、核戦争の脅威は現実性を増すばかりです。核保有国も9カ国まで拡大してしまっていました。

唯一の戦争被爆国として 条約の署名・批准を

唯一の戦争被爆国である日本政府は、この条約の採決には欠席し、「アメリカの核抑止力は必要」との態度をとっています。広島・長崎の被爆から75年にもわたる被爆者の核兵器廃止の願いに背を向け、多くの国民が賛成する核兵器禁止条約に反対する日本政府の態度は、被爆者と世界中の核兵器廃絶を願う市民を大きく失望させるもので、許されるものではありません。さらに菅政権は、「安倍政権の政策をすべて受け継ぐ」としています。日米軍事同盟を深化し、日本の軍事力拡大をさらに加速化させています。

一方で、地方自治体では署名・批准を求める意見決議が500自治体を超え、地球環境を守る取り組みとともに広がりを見せています。今、幅広い市民と団体が、条約への署名・批准を求める署名に取り組んでいます。

今年も、政権交代を可能とする衆議院選挙が行われます。市民と野党の共同で、「核兵器は廃止すべきだ」とする国会議員を多数選出して、政権交代を実現することが核兵器禁止条約を批准する一番の近道です。

内閣総理大臣 殿

唯一の戦争被爆国
 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

いま世界では、核兵器禁止条約の発効から核兵器廃絶へとすすもう、という声があがっています。多くの国々が被爆者の声に耳を傾け、「核兵器による安全」ではなく、「核兵器のない世界による安全」を選択し、核兵器禁止条約を支持し、参加しつづけています。

唯一の戦争被爆国である日本政府は、核兵器廃絶の先頭に立たなければなりません。国内の世論調査でも、日本が核兵器禁止条約に参加すべきとの声は7割を超えています。日本政府がこの被爆者と国民の声に誠実に応えることを祈えます。

私は、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めます。

名前	住所	署名

この署名は、2020年10月29日、被爆者をはじめ各界・各層の代表125名の方々によりスタートしました。日本国政府に提出します。ご記入いただいた個人情報は、この要請目的以外には使用しません。

【取扱団体】

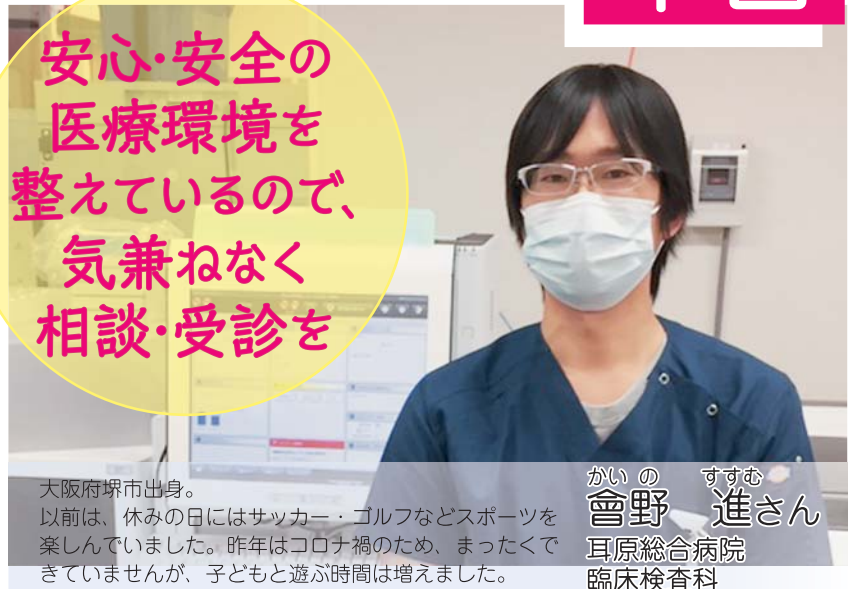
連絡先: 署名事務局 (核兵器禁止日本協議会)
 〒112-8464 東京都文京区湯島2-4-4
 電話: 03-5842-0031

(編集委員会事務局)

シリーズ
みみはらの人 ⑫

みみはら 十人色

2021年最初の「みみはらの人」は會野進さんです。地元、堺市出身です。2006年に同仁会に就職した検査技師で、副技師長です。



安心・安全の医療環境を整えているので、
 気兼ねなく相談・受診を

大阪府堺市出身。以前は、休みの日にはサッカー・ゴルフなどスポーツを楽しんでいました。昨年はコロナ禍のため、まったくできていませんが、子どもと遊ぶ時間は増えました。

かいのすすむ
 會野進さん
 耳原総合病院
 臨床検査科

検査技師を選んだきっかけは？
 元々、生物学が好きで、身体の中で起こっている生体防御などに興味を持ち、この仕事があると紹介されました。

現在、どんな仕事をしていますか？
 患者さんから採取したものの(血液・尿)便など、身体の中から出たものすべてを、異常がないか調べることを主にしています。

「コロナ禍で仕事に変化はありましたか？」
 仕事よりも、プライベートで大きな変化がありました。親族以外の友人などとは仕事以外、ほぼ会わなくなりました。趣味であったサッカー・フットサル・ゴルフなどは一切なくなりました。

病院で仕事をしていくうえで感染対策は必要なことです。今の状況は、再度引き締めるキッカケとなりました。

「この仕事をしていて「良かった」と感じる点」や「やりがい」は？
 患者さんのデータから異常をいち早く察知し、診療側にすぐにフィードバックできることや、新しい検査(コロナ抗原検査)のこと。

検査・PCR)を取り入れて病院に貢献する点ですか？
 大切にしていくことは、職場風土の向上です。職歴に関係せず意見を言い合える職場環境にするようにしています。

「ストレス発散方法はありますか？」
 子どもと遊ぶこと。高いビルを家で飲むこと。

「あなたにとって「みみはら」とは？」
 他職場・医師とも、垣根を越えて仲間づくりができる場所です。

「友の会の方や患者さん・利用者さんに伝えたことは？」
 友の会のみならずには、ボランティアを担うなど、病院の医療を支えてくださっていると痛感しています。

患者さん・利用者さんへは、コロナ禍で不安な日々が続いていると思いますので、安心・安全の医療環境を整えていますので、気兼ねなく相談・受診していただけたらと思います。